

高等学校 地理歴史科・公民科 シラバス

3年間のねらい 学習目標

文部科学省学習指導要領の定める中学校社会科、高等学校地理歴史科、高等学校公民科の各目標の主旨を基本とする。即ち、社会の成員、日本国民、国際社会の一員としての自覚と資質の育成を教科指導の目標とする。まず、現代社会が自然環境、人々の地域間交流、歴史的背景などの諸条件によりどのように形成され、どのような特徴を備えているかを正確に認識させたい。その上で、政治的、経済的、社会的、国際関係的諸事象について、何が解決すべき問題や課題であるか、また、社会の一員として問題や課題に対してどのように関わろうとすればよいのかを主体的に考える生徒を育てたい。更に、本校生の圧倒的多数が大学への進学を希望するため、知的好奇心を涵養し、大学での勉学のもととなる人文・社会科学諸分野の基礎的知識、レポート、小論文作成能力、資料収集・読解方法等を習得させたい。

科目名 日本史基礎（文系） 2単位

学年	第2学年	教科書	未定
		副教材	未定

学習到達目標

古代日本の成り立ちから近世に至る社会や文化の変遷を学び、様々な資料を通して自国の歴史に対する幅広い興味関心と、視野の育成を目指す。そして3年時に近現代史の学習を始める上で必要な知識の習得と理解を目指す。

学習方法

小テスト等を効果的に活用し、基本的な知識の習得を図る。またより多くの資料を用いて、歴史的事実を多方面からとらえ、その理解を進める。

年間シラバス (1年間の学習予定表)

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補講等
1 学期	(1学期) ＜原始・古代＞ 日本文化のあけぼの ・文化の始まり ・農耕社会の成立 ・古墳とヤマト政権 律令国家の形成 ・飛鳥の朝廷 ・律令国家の成立 ・平城京の時代 ・天平文化 ・平安朝廷の形成 貴族政治と国風文化 ・摂関政治 ・国風文化 ・荘園と武士	<ul style="list-style-type: none"> 最低限必要な年号と時代区分の定着 縄文、弥生文化の成立、小国の成立と邪馬台国連合の形成について理解を深める。 古墳の出現とヤマト政権の成立、東アジア諸国との関係、大陸文化の受容について理解を深める。 律令国家の成立と平城京の時代について、東アジア諸国との関わりの中から理解を深める。 飛鳥、白鳳、天平文化への変遷を、律令国家の成立過程の中で理解を深める。 平安期における天皇親政、摂関政治への政治体制の変遷について理解を深める。 国風文化について、9～10世紀頃の国際関係の中で理解することができる。 平安期における武家勢力の成長と荘園の発達などについて理解を深める。 古代の知識の習得・整理 	<p>小テストを効果的に活用</p> <p>ノートチェック 中間テスト 小テスト複数回</p> <p>ノートチェック 期末テスト</p>
2 学期	(2学期) ＜中世＞ 中世社会の成立 ・院政と平氏の台頭 ・鎌倉幕府の成立 ・武士の社会 ・蒙古襲来と幕府の衰	<ul style="list-style-type: none"> 1学期の範囲を確認、知識の定着 院政の開始と当時の社会、院政期の文化、平氏政権の成立、日宋貿易について、理解を深める。 源平の争乱から鎌倉幕府の成立に至る経緯、幕府と朝廷との関係について、 	<p>小テストを効果的に活用</p> <p>ノートチェック 中間テスト</p>

	退 ・鎌倉文化 武家社会の成長 ・室町幕府の成立 ・幕府の衰退と庶民の台頭 ・室町文化 ・戦国大名の登場	理解を深める。 ・北条氏の台頭、執権政治などを通じて武士の社会について理解を深める。 ・蒙古襲来と幕府の衰退について、社会の変動をあわせて理解を深める。 ・武家社会の成長を、室町幕府の成立と衰退の変遷から理解を深め、村の成立や土一揆の発生などから庶民の台頭について理解を深める。 ・中世の知識の習得・整理	小テスト複数回 ノートチェック 期末テスト
3 学期	(3 学期) <近世> 幕藩体制の確立 ・織豊政権 ・桃山文化 ・幕藩体制の成立	・2 学期の範囲を確認、知識の定着 ・中世から近世へと変化していく社会、そして幕政を安定させるために江戸幕府がとった様々な政策について理解する	復習テスト・小テスト ノートチェック 期末テスト

科目名 日本史特論 (文系) (2 単位)

学 年	第 3 学年	教科書	未 定
		副教材	未 定

学習到達目標

近世、260 年余りの長きにわたった江戸幕府による治世の様子を、基本的知識の習得と主要な出来事の考察によってとらえ、その理解を深める。また近代日本の幕開けを諸外国との関わりの中でとらえ、世界の中の日本として広い視野をもって大正期にいたるまでの歴史を読み解き、理解を深める。

学習方法

小テスト等を効果的に活用し、基本的な知識の習得を図る。またより多くの資料（文字資料だけでなく映像資料等も）を用いて、歴史的事実を多方面からとらえ、その理解を進める。

年間シラバス (1 年間の学習予定表)

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補講等
1 学期	(1 学期) <近世> 幕藩体制の展開 ・幕政の安定 ・経済の発展 ・元禄文化 幕藩体制の動揺 ・幕政の改革 ・幕府の衰退 ・化政文化	・幕政を安定させた諸経緯とそれにとともなう経済社会の繁栄、成長した文化について、基本的な知識を定着させるとともにその理解を深める ・幕政の動揺とそれに対応する形で進められた諸改革、そしてヨーロッパ列強による外圧についてその背景を知り、基本的な知識を定着させるとともに理解を深める	ノートチェック 中間テスト ノートチェック 期末テスト
2 学期	(2 学期) <近代> 近代国家の成立 ・開国と幕末の動乱 ・明治維新と富国強兵 ・立憲国家の成立と日清戦争 ・日露戦争と国際関係 ・近代産業の発展 ・近代文化の発展 近代日本とアジア ・第一次世界大戦と日本 ・ワシントン体制 ・市民文化	・明治維新にとともなう日本社会の変化を段階的に、そして国内外の視点と様々な側面からとらえ、基本的な知識を定着させるとともにその理解を深める ・近代国家として成長する日本とそれに伴う人々の意識の変化、そして国際社会における日本の立場の変化について基本的な知識を定着させるとともにその理解を深める ・第一次世界大戦前後に見られる国際関係の変化やその中にある日本の立場の変化、そして日本国内に見られる社会の変化について、基本的知識を定着させるとともにその理解を深める	小テスト複数回で 1 学期範囲を復習 ノートチェック 中間テスト ノートチェック 期末テスト

	・恐慌の時代		
3 学 期	(3 学期) 総復習	・日本史基礎、日本史特論で履修した範囲について、履修内容を総復習し、知識の確認と定着を図る	復習テスト・小テスト ノートチェック 期末テスト

科目名 現代史（文系）（1 単位）

学 年	第 3 学年	教科書	未 定
		副教材	未 定

学習到達目標

現代史の分野に視点を向け、第二次世界大戦以降を中心に学ぶことになる。歴史学は、過去の出来事を学ぶだけの学問ではなく、未来を映す鏡でもある。なかでも現代史は、我々が生きている時代に直接関係する出来事を学び、そこから多くの教訓を引き出すのが狙いである。

学習方法

現代史の分野は、史料（文書・証言）も豊富で、いろいろな角度から歴史へのアプローチが可能な分野である。ビデオ・DVD などの映像も使い、レポート提出なども取り入れる予定である。

年間シラバス （1 年間の学習予定表）

学 期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補講等
1 学 期	(1 学期) 第二次世界大戦と日本 ・軍部の台頭 ・第二次世界大戦 占領下の日本 ・占領と改革 ・冷戦の開始と講和	・第二次世界大戦前後に見られる日本国内における様々な社会変化と、国際社会における日本の立場の変化について、基本的な知識を定着させるとともにその理解を深め、現在に続く諸問題について自分なりの考えを持てるようになる	小テスト複数回で1 学期範囲を復習 ノートチェック 中間テスト ノートチェック 期末テスト
2 学 期	(2 学期) 高度経済成長の時代 ・55 年体制 ・経済復興から高度成長へ 激動する世界と日本 ・経済大国への道 ・冷戦終結と日本社会の動揺	・戦後の日本を取り巻く環境、日本社会の状況について基本的な知識を定着させるとともに、国際的な視野に立って政治・経済両面からその理解を深める ・戦後の日本に見られる様々な変化を追うことを通じて、基本的な知識を定着させるとともに、現在の日本が抱える諸問題について理解を深め、今後の迎えるべき道筋を探る	復習テスト・小テスト ノートチェック 期末テスト
3 学 期	(3 学期) 総復習	・現代史で履修した範囲について、履修内容を総復習し、知識の確認と定着を図る	復習テスト レポート提出等

科目名 世界史B①②（文系）（①2 単位、②1 単位）

学 年	第 1 学年	教科書	山川出版社『詳説世界史』
		副教材	帝国書院『明解世界史図説 エスカリエ 五訂版』、山川出版社『新詳世界史 B ノート 整理と演習』、プリント

学習到達目標

当該地域・時代についての基礎的知識の獲得。授業ノートの作成と用語調べ、疑問点の整理を自分で行えるようになる。当該地域・時代についての俯瞰的理解を得、同地域・時代が果たした歴史的意義を評価できるようになる。

学習方法

講義を基本に適宜、視聴覚教材などを使用しイメージを広げ、小テストやノート提出などを通じて学習内容の定着をはかる。

年間シラバス (1年間の学習予定表)

世界史B① (2単位)

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補講等
1 学期	古代オリエント世界 地中海西アジア世界 中世ヨーロッパ世界	映像や画像資料などを使用して、イメージを広げながら全体的な流れを理解させる。とりわけオリエント・ローマは同志社の根幹であるキリスト教と深く関わりがあるため、歴史的経緯などを理解させる。	小テスト・ノート提出など 中間・期末考査 必要に応じてレポートを課す
2 学期	中世ヨーロッパ世界 イスラーム世界	映像や画像資料などを使用して、イメージを広げながら全体的な流れを理解させる。とりわけイスラーム世界については近年の国際政治やなどとも関連があるため、歴史的経緯などを理解させる。	小テスト・ノート提出など 中間・期末考査 必要に応じてレポートを課す
3 学期	近世ヨーロッパ 欧米近代社会の展開	映像や画像資料などを使用して、イメージを広げながら全体的な流れを理解させる。とりわけ近世・近代のヨーロッパ社会は日本とも関わりが出てくるため、歴史的経緯などを理解させる。	小テスト・ノート提出など 学年末考査 必要に応じてレポートを課す

世界史B② (1単位)

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補講等
1 学期	インドの古典文明 内陸アジア世界・東アジアの形成	イメージを広げながら全体的な流れを理解させ、インドや中国の古典文明についての俯瞰的理解を得、同地域・時代が果たした歴史的意義を評価できるようになる。	小テスト・ノート提出など 中間・期末考査 必要に応じてレポートを課す
2 学期	内陸アジア世界・東アジアの展開	イメージを広げながら全体的な流れを理解させ、古代から中世にかけての中国の王朝を中心とする世界についての俯瞰的理解を得、同地域・時代が果たした歴史的意義を評価できるようになる。	小テスト・ノート提出など 中間・期末考査 必要に応じてレポートを課す
3 学期	アジア諸地域の繁栄	イメージを広げながら全体的な流れを理解させ、中世以降の中国王朝を中心とする世界についての俯瞰的理解を得、同地域・時代が果たした歴史的意義を評価できるようになる。	小テスト・ノート提出など 中間・期末考査 必要に応じてレポートを課す

世界史特論 (1単位)

学年	第2学年	教科書	山川出版社『詳説世界史』
		副教材	帝国書院『明解世界史図説 エスカリエ 五訂版』、山川出版社『新詳世界史Bノート 整理と演習』、プリント

学習到達目標

「世界史B」を受けて、文系コース選択者にむけて比較的新しい時代を中心に授業をおこなう。

当該地域・時代についての基礎的知識の獲得。授業ノートの作成と用語調べ、疑問点の整理を自分で行えるようになる。当該地域・時代についての俯瞰的理解を得、同地域・時代が果たした歴史的意義を評価できるようになる。

学習方法

講義を基本に適宜、視聴覚教材などを使用しイメージを広げ、小テストやノート提出などを通じて学習内容の定着をはかる。

年間シラバス (1年間の学習予定表)

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補講等
1 学期	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 欧米における近代国民国家の発展	イメージを広げながら全体的な流れを理解させ、近代ヨーロッパ・アメリカ世界についての俯瞰的理解を得、同地域・時代が果たした歴史的意義を評価できるようになる。	小テスト・ノート提出など 中間・期末考査 必要に応じてレポートを課す
2 学期	アジア諸地域の動揺 帝国主義とアジアの民族運動	イメージを広げながら全体的な流れを理解させ、ヨーロッパによる世界各地の植民地支配についての俯瞰的理解を得、同地域・時代が果たした歴史的意義を評価できるようになる。	小テスト・ノート提出など 中間・期末考査 必要に応じてレポートを課す
3 学期	二つの世界大戦	イメージを広げながら全体的な流れを理解させ、20世紀の二つの大戦を中心に俯瞰的理解を得、同地域・時代が果たした歴史的意義を評価できるようになる。	小テスト・ノート提出など 学年末末考査 必要に応じてレポートを課す

現代社会 (2単位)

学年	第2学年	教科書 副教材	第一学習社『現代社会』 第一学習社『現代社会ノート』、プリント等の自主教材

学習到達目標

現代社会の成り立ちや社会のしくみ、その背景にある基本理念等について理解し、現代社会が抱える諸課題について事実をよく調べ、問題の本質を理解したうえで、自分なりの考えをまとめることができる。

学習方法

教科書やプリント教材等を用いて事実を確認し、獲得した知識をもとに自分の考えをまとめてレポートや口頭発表を行う。さらに、特定のテーマについて討論会やディベートを行う。

年間シラバス (1年間の学習予定表)

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補講等
1 学期	第1編 私たちの生きる社会 第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方 第1章 現代に生きる青年 第2章 個人の尊重と法の支配	<ul style="list-style-type: none"> 地球環境問題、資源・エネルギー問題、身近なリサイクル、科学技術の発達と生命倫理、再生医療の未来、高度情報社会と私たちの生活について考えることができる。 青年期の意義と自己形成の課題、現代社会における青年の生き方、伝統や文化と私たちの生活、国際協力について考えることができる。 民主政治における個人と国家、基本的人権と法の支配、世界の主な政治体制、EUの政治体制について理解することができる。 日本国憲法の基本原理、平和主義と安 	復習テスト(春休みの課題に関するテスト) 中間・期末考査 ノート・レポート、プリント教材等の課題

	第3章 現代の民主政治と政治参加の意義	全保障、沖縄の基地問題、基本的人権と新しい人権、国民主権と議会制民主主義、内閣と行政の民主化、裁判所と人権保障、裁判員制度、地方自治と住民の福祉、憲法改正問題、世論の形成と住民参加について理解することができる。	
2 学期	第4章 国際政治の動向と日本の役割 第5章 現代の経済社会と私たちの生活	<ul style="list-style-type: none"> ・国際主権と国際法、国際連合の役割、今日の国際社会、核兵器の廃絶と国際平和、国境と領土問題、地域紛争と人種・民族問題、パレスチナ問題、外交政策と日本の役割、人間の安全保障について理解することができる。 ・経済社会と経済体制、現代の企業、株式会社、市場経済のしくみ、経済成長と景気変動、政府の経済的役割と租税の意義、増え続ける国の借金、金融機関のはたらきについて理解し、金融商品とのつきあい方について考えることができる。 ・戦後の日本経済の動き、インフレとデフレ、産業構造の変化、ベンチャー企業とイノベーション、食の安全と食の信頼、雇用と労働問題、公害防止と環境保全、消費者保護と契約、社会保障と国民福祉、人口減少社会の到来について理解することができる。 	夏休み課題 中間・期末考査 ノート・レポート、プリント教材等の課題
3 学期	第6章 国際経済の動向と日本の役割 第7章 現代に生きる倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・国際経済のしくみと貿易の拡大、国際収支のしくみ、円高・円安のしくみ、国際経済の動向、経済のグローバル化、FTAとEPA、発展途上国の経済と南北問題、世界の食料問題について理解し、国際協調と日本の役割について考えることができる。 ・仏教とキリスト教に見る愛、日本の伝統的なものの見方、西洋の自然観と人間観、自由と幸福等について理解し、私たちの課題について考えることができる。 	復習テスト（冬休みの課題に関するテスト） 学年末考査 ノート・レポート、プリント教材等の課題

政治経済特論①（社会科学系 2単位のうち1単位）

学 年	第3学年	教科書	山川出版社『現代の政治・経済』
		副教材	プリント等の自主教材

学習到達目標

政治のしくみや役割、成立過程や基本理念等について理解し、国内だけでなく国際社会が抱える諸課題について事実をよく調べ、問題の本質を理解したうえで、自分なりの考えをまとめることができる。

学習方法

教科書やプリント教材等を用いて事実を確認し、獲得した知識をもとに自分の考えをまとめてレポートや口頭発表を行う。さらに、特定のテーマについて討論会やディベートを行う。

年間シラバス（1年間の学習予定表）

学 期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補講等
1 学期	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本 原理と日本国憲法	<ul style="list-style-type: none"> ・政治と法の機能、人権保障と法の支配、議会制民主主義と世界の政治体制、日本国憲法の基本原理、平和主義と自衛隊、基本的人権の保障と新しい人権など学習を通して、民主主義の基本原理と政治の働きについて理解し考えることができる。 	中間・期末考査 ノート・レポート、プリント教材等の課題

		<ul style="list-style-type: none"> ・国会の組織と立法、内閣の機構と行政、裁判所の機能と司法制度、地方自治制度と住民の権利、政党政治と選挙制度、民主政治における世論の役割などの学習を通して、現代の政治制度やしきみについて、さらに理解を深める。 ・国際社会と国際政治についての理解を深めるとともに、日本の役割について考える。 	
2 学期	第2章 現代の国際政治と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会と国際法、国際連合の組織と役割、国際社会の動向、国際紛争と難民問題、国際平和と日本の役割等の学習を通して、国際社会の理念と仕組み、現代の国際社会における政治の役割、および国際社会における日本の役割について考えることができる。 ・それまでの学習で得た知識と新たな情報をもとに、持続的な社会を築くために何をすべきかを考える。 ・討論会やワークショップ、プロジェクト型学習などに積極的に取り組むことにより、自ら課題を見つけ、分析し、解決策を考えることができる。 	夏休み課題 中間・期末考査 ノート・レポート、プリント教材等の課題
3 学期	第3編 現代社会の諸課題 第1章 現代日本の政治や経済の諸課題 第2章 国際社会の政治や経済の諸課題	<ul style="list-style-type: none"> ・20世紀後半から21世紀にかけて大きく変化してきた現代社会の特徴、即ち、少子高齢社会と社会保障、地域社会の変貌と住民生活、雇用と労働をめぐる問題等について、理解を深め、考えることができる。 ・人種・民族問題と地域紛争、国際社会における日本の立場と役割について理解し、よりよい社会にするために何ができるかを主体的に考えることができる。 ・2学期に取り組んだ学習をさらに発展させてレポートにまとめ、発表することができる。 	学年末考査 レポート作成

政治経済特論② (社会科学系 2単位のうち1単位)

学 年	第3学年	教科書	山川出版社『現代の政治・経済』
		副教材	プリント等の自主教材

学習到達目標

経済社会の成立過程やその背景にある考え方、現代経済のしくみと役割等について理解し、現代経済が抱える諸課題について事実をよく調べ、問題の本質を理解したうえで、自分なりの考えをまとめることができる。

学習方法

教科書やプリント教材等を用いて事実を確認し、獲得した知識をもとに自分の考えをまとめてレポートや口頭発表を行う。さらに、特定のテーマについて討論会やディベートを行う。

年間シラバス (1年間の学習予定表)

学 期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補講等
1 学 期	第2編 現代の経済 第1章 現代経済のしくみと特質	<ul style="list-style-type: none"> ・経済社会の発展、経済主体と経済活動、市場経済の機能と限界、経済成長と景気変動、財政のしくみと働き、金融のしく 	中間・期末考査 ノート・レポート、プリント教材等の課題

		<p>みと働き、物価の動きなどの学習を通して、基本的な経済のしくみと現代経済の特質について理解することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本経済の歩み、中小企業の地位と役割、農業の現状と課題、消費者問題、高度情報化社会の進展と課題、労働問題、社会保障の充実、環境保全と資源・エネルギー問題などについての学習を通して、日本経済のしくみや特徴について、さらに理解を深めることができる。 	
2 学期	第2章 国民経済と国際経済	<ul style="list-style-type: none"> ・国際経済のしくみ、国際協調と国際経済機関の役割、国際経済の諸問題と日本の役割についての学習を通して、現代の国民経済と国際経済の結びつきに関する理解を深め、国際経済の中での日本の役割について考えることができる。 ・金融の働きについて体験的に学ぶために、「株式学習ゲーム」のシミュレーション教材に取り組んでレポートを作成したり、現代社会の特徴を踏まえたうえで、企業やNGOがどのようなサービスを提供すればよいのかということを中心に考えるためにビジネスプランを作成したりして発表することができる。 ・ワークショップやプロジェクト型学習に取り組むことで、自ら課題を発見し、分析し、解決策を考えることができる。 	夏休み課題 中間・期末考査 ノート・レポート、プリント教材等の課題
3 学期	<p>第3編 現代社会の諸問題</p> <p>第1章 現代日本の政治や経済の諸課題</p> <p>第2章 国際社会の政治や経済の諸課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・産業構造の変化と中小企業、農業と食料問題、高度情報社会、経済のサービス化・ソフト化など、現代の日本が抱えている諸課題について考えることができる。 ・地球環境問題と資源・エネルギー問題、国際経済格差の是正と国際協力などについて理解し、よりよい社会にするために何ができるかを主体的に考えることができる。 ・2学期に取り組んだ学習をさらに発展させてレポートにまとめ、発表することができる。 	学年末考査 レポート作成